

患者の皆様へ

27年6月26日

肝胆膵外科

現在、肝胆膵外科では、「肝胆膵領域癌術後再発に対する再切除を含む治療成績と予後因子に関する後ろ向き研究」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では肝胆膵領域疾患に対する手術を受ける患者さんの診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「肝胆膵領域癌術後再発に対する再切除を含む治療成績と予後因子に関する後ろ向き研究」

2. 研究の意義・目的

肝胆膵領域癌は一度は治癒切除し得た症例であっても、局所や遠隔臓器への転移再発が一定の頻度で発生し、予後を規定する重要な因子です。私たちは、外科的切除後再発に関わるリスク因子を明らかにし、さらにこれまでの治療方法、治療成績との関係を調べることで、切除後の再発予防や再発癌に対するよりよい治療法の確立を目指しています。

3. 研究の方法

過去に当科にて肝胆膵領域疾患に対して手術が施行され、電子カルテにて周術期のデータが調査可能な患者様が対象です。

対象患者様の周術期データを調査し、各患者様の術後合併症発症との関連を評価します。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる棚で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省、厚生労働省が定める「疫学研究に関する倫理指針」(平成25年4月1日一部改正)に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院肝胆膵外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院肝胆膵外科

医師 酒井 望

043(222)7171 内線 72226